

## 令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立富士特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立富士特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	382人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	軸傾斜丸のこ盤
使用学年及び人数	高等部1～3年生機械加工班 生徒13人、 教師
使用頻度	高等部作業学習では週3日、教材作製・準備では週5日
使用状況	<p>高等部の作業学習(自主生産作業)の授業で製作している作業製品の部材作りに使用している。椅子(座面・脚・背もたれ)やトレーなどの製作に於いて、生徒が規格の重要性を理解し、より精度の高い木材の切断を行えるようになった。切断の精度を高めることにより、製品の質が向上し、製品を手にする人々に喜んでもらいたいという生徒の願いが実現できた。</p> <p>教員による教材作成では、日常生活の指導や生活単元学習等で使用する教材教具作りに活用している。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>切断作業の安全性が確保されたため、切断作業を生徒の作業工程に取り入れることができた。また、製品の生産量が上がり、製品の質も向上したことにより作業意欲を高めることができた。卒業後の社会参加への可能性の広がり期待できる。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>作業学習での生徒の使用は、決められた長さでの切断作業に限定しているが、製品の規格に応じてガイドの調整をして、切断作業ができるようにしていきたい。それにより、更に製品の質を意識した作業学習への取り組みが期待できる。</p>
その他希望や所感など	<p>教材作りなどで使用する教員向けの丸のこ盤の操作講習会を、年度初めに行っているが、前期と後期に一回ずつ設定して安全への意識を更に高めるようにしたい。</p>

## 2. 活用の様子



椅子の部材を切断しています。7枚の部材の内、座面の切断を担当。指差し確認をして安全に進めていきます。

